

令和5年度第2回小牧市交通安全・防犯対策協議会 議事録

日 時	令和5年9月28日(木) 午前10時～午前11時20分
場 所	小牧市役所 東庁舎5階 大会議室
出席者	<p>【委員】</p> <p>◎中村 明 交通安全協会小牧支部 落合 俊克 小牧安全運転管理協議会 平手 智明 小牧市交通委員連絡協議会 花村 寿江 子どもと高齢者を交通事故から守る会 長谷川 幸彦 小牧工場事業場防犯協会 加藤 隆明 小牧少年補導委員会 飯田 千里 小牧市保護区保護司会 山中 隆博 小牧市区長会連合会 城所 絹代 小牧市更生保護女性会 杉山 光次 小牧商工会議所 加藤 俊夫 小牧小中学校PTA連絡協議会 林 泰治 安全なまちづくり推進指導員 林 正郎 公募委員 井上 司 公募委員 牧野 裕人 公募委員</p> <p>※ ◎会長</p> <p>【事務局】</p> <p>入江 慎介 市民生活部長 小川 正夫 市民生活部次長 長縄 靖 市民安全課長 山田 幸司 市民安全課主幹 中島 真紀 市民安全課交通防犯係長 林 敬将 市民安全課交通防犯係主任 尾関 愛 市民安全課交通防犯係主事</p> <p>【小牧警察署】</p> <p>稲垣 守之 交通課長 丹羽 琢磨 生活安全課長</p>
欠席者	<p>○野々川 和明 小牧防犯協会連合会 田口 英樹 小牧市生徒指導連絡協議会 梶田 久美子 小牧市女性の会 澤木 厚司 小牧市社会福祉協議会 服部 勲 小牧市老人クラブ連合会</p> <p>※○副会長</p>

傍聴者	0名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料：協議事項及び報告事項 ・参考：令和5年度交通安全・防犯に関するポスター・標語募集要領

主な内容

1 あいさつ

- ・中村会長あいさつ

2 協議事項

(1) 産学官連携を活用した交通安全・防犯啓発活動の実施について

- ・事務局より資料を用いて説明
- ・質疑、意見は以下のとおり

(牧野委員)

計画中の活動について実施日時と書いてあるが、22日の何時から開催するのか。

(事務局)

実施日時については、12月22日午後2時からを計画している。

翌日の23日から子供たちが冬休みに入るため、その前日の終業式の日に関防・交通安全について考えていきたいということで、この日程を設定している。

(林 泰治委員)

今、お話しいただいたことは非常にいいことだと思う。

一つお願いしたいことは、点ではなくて線にしていきたい。活動実績は大学での単位に入っていると思うので、1年生で必ず1回活動して、3年生になったらその活動を通して論文を書く流れをつくるなどして、大いに活用したらいいのではないかなと思う。小牧市と連携をして行う講座について、1回ではなくて引き続き活動するようにして、線となる活動にしていただければと思う。

警察手帳は、これも非常に面白いアイデアだと思う。単に1回だけのイベントではなくて、小学生がランドセルを背負っている時に、交通安全のお守りではなくて警察手帳を付けていたら面白いなど。

子供たちにきちんと交通や防犯について学んでもらう機会をつくることも有効であり、それが点ではなくて線になるということだと思う。

今回はこれをやってみて、好評であればランドセルに付けたりするようなことを来年度の政策の中に入れたり、せっかくのいい案なのでぜひ線にしていきたいと思う。

(2) 防犯啓発ステッカーの作成・配布について

- ・事務局より資料を用いて説明
- ・質疑、意見は以下のとおり

(林 正郎委員)

シールの寸法はどれぐらいになるのか。また、せっかく何回か集まって協議しているので、この協議会の名前を載せるのもいいのではないか。載せない理由等あれば教えてほしい。

(事務局)

サイズは、こちらの資料に原寸大のものを載せており、このような形での作成を検討している。

交通安全・防犯対策協議会の名前を入れたらいいのではないかという件については、ぜひそのアイデアを前向きに検討して、シールに入れることができるか考えたい。

(林 泰治委員)

今の話、例えば私たち委員に決定権があれば、全てやれることは我々の名前出してもいいが、我々委員というのはあくまでも施策を考えて、検討するということであって、決定権は市にあると思う。私たちはあくまでも施策を提案するだけの立場なので、名前を入れるっていうのはちょっと趣旨に反することになると思う。

(林 正郎委員)

そうするとここは皆さんにある問題についてそれぞれの意見を述べてもらうところだが、前回もほとんど意見が出ていなくて最後はほとんど市役所任せみたいな形になってしまうので、ぜひ皆さんから意見をいただきたいと思う。今、林さんが言われたように、決定権の無い機関ということであれば、協議会の名前を載せなくもいいかなと思う。

(中村会長)

寸法が横9センチ、縦8センチと書いてあるが、例えばもうちょっと寸法を変えてほしい等いろんな考え方があってと思うので、それぞれ意見を出してほしい。

(落合委員)

シールの表に小牧市観光協会と小さく入っているが、これはカットできるのか。

(事務局)

この三英傑のデザインは、著作権の関係でどうしてもどこかに明示しないとイケないという約束事がある。

文字の大きさについてはいろいろあるとは思いますが、どこかには明示しないといけないので、それについてはご理解いただきたい。

(杉山委員)

蛍光とかで文字を光らせるのがいいのかなと思う。

新しく作るシールはこのサイズでどこに貼ってもらいたいのか、使い方について少し気になる。

それともう一つは、今年は大河ドラマの「どうする家康」が放映されているので、家康が中央でいいかなと思う。しかし今からだとおそらく大河ドラマが終わった頃に作られるだろうし、元々小牧市は信長で売っていると思うので、並びをどうするのがいいのか教えてほしい。

(事務局)

三英傑の配置については権利の問題もあるので、一度担当課とも協議させていただきたい。

デザインについては、先々のことというのは中々難しいところあるので、現段階はこの形でやっていきたいと考えている。貼る位置としては、門・表札・玄関先などに明示していただくといいのかなと今のところ考えている。

当然、いろいろとご意見はあると思うので、またご意見いただければ大変ありがたい。

(飯田委員)

今、シールの貼る位置ということで、玄関先、門という話が出たが、外で貼るということか。子供たちが遊ぶシールではなく、防水加工したようなシールということか。

(事務局)

屋外を想定しているので、防水加工の雨に強いものにしていきたいと思う。

(加藤 隆明委員)

先程意見が出たが、協議会の名前は出しても出さなくてもどちらでも構わない。こういう事業というのは、市がある程度権限を持って早く進めてもらいたい。

こういうことは早く実施して、後に反省点等について話し合うというかたちでやってもらえればと思う。

今は市内で地域協議会が小学校区で設立されているところも多いので、そういうものを活用して啓発を進めたりしてもらえば、費用を抑えることもできるのではないかな。

(中村会長)

この会の位置付けがどうなっているかということもあるが、協議会の名前を入れて

いくかどうかについて事務局の方で検討いただき、基本的には事業をスピーディーに進めてもらいたい。

3. 報告事項

(1) 小牧市における交通事故及び犯罪発生状況について

(稲垣交通課長)

県内の交通死亡事故については、9月27日現在の暫定数で103名の方亡くなっており、前年対比プラス11名という厳しい状況である。8月末の愛知県内の死者数が93名であるので、今月に入ってからで10名の方が亡くなってしまった。

小牧警察署管内における暫定数は死亡事故3名、人身事故が380件となっている。月別の死傷者数は、1月、5月、7月は異なるが、概ね前年と同様な増減で推移しているため、これから年末に向けて増加をしていくことを懸念している。

学区別では、小牧、村中が突出をしている。これは国道41号線や155号での交通事故の発生が多いということが原因だと考えられるので、赤色灯を点灯させたパトカーや白バイ等を投入して、通行車両への広報・注意喚起、取り締まり等を行っているところである。

交通事故の特徴については、交差点及びその付近での四輪車次いで自転車による人身事故というのが多発している。

年齢層別では、高齢者の事故というのは昨年と比べるとマイナス1件で、歩行者・自転車での事故は減少した。しかしながら、これからの時期は、朝夕の気温も下がり、自転車や徒歩での外出が多くなるとともに、日も短くなるため、交通事故の増加が懸念されている。

以上のことから小牧警察署は交通事故抑止策として、「高齢者、歩行者、自転車、交差点」この4つを抑止の柱として、広報啓発、交通指導取締り等に努めるとともに、現在行われている秋の全国交通安全運動に合わせて、各種取り組みを行っている。

残念なことに死亡事故件数にはまだ計上はされていないが、昨日3件目の交通死亡事故が発生してしまった。まだ捜査が完了していないので、詳細については説明するのを省くが、場所はちょうど小牧の駅の南側の東西道路である。ここの道路を南から北に横断をしようとした30代の女性が乗る自転車が東から西へ向かって走ってきた乗用車に跳ねられて亡くなったという事故である。

被害者の方はヘルメットをかぶっていなかったようだが、やっぱりヘルメットさえ被っていればこの事故は助かったのではないかと思われるような事故が多々ある。ヘルメットはしっかりとかぶって自転車に乗ってほしい。

例年、秋以降の薄暮時間帯での交通事故多発に対する対策として、「夕方の5～7（ゴーナナ）は魔の時間」これを昨年に引き続きこれをキーワードとするとともに、昨日発生した交通死亡事故を検証し、交差点や横断歩道などを中心とした交通指導取締りや自転車利用者に対する指導・取締りを行う。

また薄暮時間帯に散歩をする人たちに反射材等を配布して、歩行者の交通安全の意識を高める「ナイトウォーク啓発」などを行い、これ以上小牧警察署管内で、愛知県内でも交通死亡事故を発生させないように、各種いろんな政策を推進したいと思いますので、委員の皆様のご協力をお願いしたい。

(丹羽生活安全課長)

令和5年8月末、刑法犯認知件数については653件発生している。今まで概ね減少傾向だったが、令和4年から増加傾向となっており本年、前年同時期比でプラス101件、18.3%の増加となっている。刑法犯の主な占有率について、一番多いのが自転車盗で150件、占有率でいくと約23%になる。次いで万引きが85件、占有率13%となっている。小牧市は特に自転車盗が大変多く、現在特に無施錠被害が多いので、この無施錠被害を減らすために各種対策を進めている。

小牧市における侵入盗発生状況は、住宅対象侵入盗は減少傾向となっているが、お店、その他のATM破り、金庫破りなど、その他の侵入盗の手口が増えてきている。

特に今一番、課題として考えているのが特殊詐欺である。令和5年8月末現在で17件、実質被害総額が約3572万円となっている。令和4年の1月から12月までの1年間で17件の発生があり、令和5年の8月末現在で17件ということで昨年1年間の概ねの件数に並んでいる。何とか少しでも被害をとどめるように対策をとりたい。

(長谷川委員)

今回の死亡事故の現場写真を見ていると、中々設置しにくいかもしれないが、こういうところは信号機を設置できないのかと思う。自転車や人がよく通る所に押しボタン式信号を設置するといいのかなと。

また、小牧駅の西北角あたりの東春信用金庫前の大きい交差点も信号が設置されていないので、何故かなと思う。設置の基準があると思うが、検討していただきたい。

(稲垣交通課長)

信号機の設置の基準については、信号機と信号機の間があまりにも近いと、その先の信号が目に入ってしまったとあまり好ましくないし、信号機や押しボタンの設置などの規制については周りの人の意見をまとめていただいて、小牧警察署の規制係にご相談いただければ、検討及び回答をさせていただきます。

(加藤 隆明委員)

私は北里地区に住んでいるが、だいぶ前に中学生が登校時に横断歩道を渡っている際に交通事故に遭った。横断歩道付近は徐行という規則を怠って起きた事故であるが、子供は後遺症が残って、今も大変な生活をしていると聞く。本当に県・市・警察

もそうだが、何か起こらないと対応ができないことが多い。この事故現場についても信号の設置については以前から申請が出ているが、予算の問題等で中々設置できないと言われるので、もっと警察の方でも声を挙げてもらいたい。

それから先程、交通課の方の説明で村中地区の交通事故が非常に多いとあったが、これは何年も前から同じで、表でデータ化するだけでなく、村中の事故を何とか減らすためにもっと地域の方や、いろいろな方と協力し合っていく必要がある。

もう一つはヘルメットの件である。着用が努力義務化されたが、かぶってもかぶらなくてもいいのか理解しにくい部分がある。確かに小学生のヘルメットをかぶる率は高く、家に帰って出て行く時にかぶるという習慣がついている。しかし、中学校、高校生になると、一旦家に帰るとかぶらない子は多いし、大人になれば、ほとんどかぶっていないと思う。

警察の方もパトカーの走行中にマイクでヘルメットの着用について呼びかけたりすれば、少しはかぶる人が増えるのではないか。

交通事故の発生は中々無くならず、交通課の方も大変だと思うが、一時停止違反などを取り締まること以上に、交通事故を減らすことにさらにご尽力いただければと思う。

(稲垣交通課長)

ヘルメットの努力義務については、法律で努力義務と定められている。これが努力義務から義務となる可能性があるが、今の段階ではヘルメットの着用に努めなければいけないというところである。警察も、皆さんにヘルメットの着用に努めてもらうよう広報活動をしている。

また先ほど言われたように、パトカーでのパトロール中にヘルメットをかぶっていない方にマイクで伝えるように努めているところだが、すべてのヘルメットかぶっていない自転車に対して、ヘルメットをかぶってもらうようマイクで伝えるのも中々難しいので、走行中に目に入った人には呼びかけるようにしたい。

それ以外にも、自転車の安全な乗り方教室を小学校・中学校などに赴いて開催し、高校の自転車通学の生徒に対して、各学校のヘルメット着用率を今調査している。また、学校の生徒に手伝ってもらい、学校別の着用率で競ってもらうような方策も今考えているところである。

費用はかかるが、実際に自分の身を守るものなのでヘルメットをぜひかぶっていただき、安全に自転車乗ってもらえればと思う。色々な施策を考えてやっているのので、皆様方のご協力をお願いしたい。

(落合委員)

安管ではどのように活動しているかという、いわゆる社用車5台以上の会社は運転管理者を作らないといけないという法律がある。運転管理者は、1年に1回、1日講習を受けて交通安全の新しいルールや発生率が高い事故について勉強をする。

新しい情報としては、5台以上の社有車を持った会社は、12月1日から毎朝、乗車前にアルコールのチェックが義務となる。今後、運転管理者はそれをチェックすることになる。

社用車に乗る社員も高齢者化しており、先般の講習でも運転に際して視力の問題が出た。運転をする場合は、認知能力と合わせて視力の確認も必要だと思う。

(牧野委員)

自転車は、歩道のある道路の場合、車道側を走るということでよいか。

(稲垣交通課長)

原則は歩行者を優先し、自転車は車道を走行することになる。道路交通法は分かりにくいところがあるが、自転車に乗っている時は軽車両という扱いになる。

ただし、歩道が広い場合などには、歩道を自転車も通行してもよい標識が立っており、場所によって状況が異なることをご確認いただきたい。

(加藤 俊夫委員)

先程、学区別の死傷者数ということでお話があったが、村中はこの数が毎年変わっていない。小中学生の子供がいる私達PTAの立場からすると、この学区別で村中が多いというのは少し違和感を覚える部分である。

41号線での事故件数が多いということだが、他の学区、例えば街中での事故件数の算出の仕方など、データに書かれてないような情報をいただきたい。例えば各学区において何か日頃から注意することによって事故が減るものなのか、41号線のように市外・県外の人も通ったりするような交通量の多い道路だから事故が起こっているのか、もちろん学校でも交通安全への注意喚起はできるが、具体的に教えてほしい。

データの出し方の部分で少し工夫して教えていただけると、各学区に対して落とし込みもできる。単純に村中学区での事故が多く、41号線があるからとなると、小中学生や個人でどれだけ努力できるか疑問に感じる部分もある。

(稲垣交通課長)

お話いただいたように今後、このような表を作成する際に、そういったことをしっかりと考慮して作成したいと思う。

(飯田委員)

小牧市における犯罪発生状況のところで、自転車盗が一番多く、2番目に万引きということだが、これは想像するに少年達がやっているのかなと思う。発生場所は、どちらが一番多いのか分かれば、来年度に向けて市はどういうことを防犯対策として行えばいいか分かるはずである。

(丹羽生活安全課長)

自転車盗には、私達も大変頭を悩ませており、毎日数字を見ながら何かできないか考えている。発生件数の多い場所は、名鉄沿線の駅駐輪場、合わせて駅駐輪場周辺の住宅地内が多く、無施錠で盗まれている場合が大変多い。

今は、ホットスポット対策と、施錠をいかにするかこの2つの対策にひとまず絞って施策を進めている。現在やっている対策として、一番大きい小牧駅の駐輪場で無施錠の自転車にタグを巻きつけてタグに追跡番号、追跡中という文字を載せ、人間の心理学、仕掛け学を利用して、注意を引きつけることを実施した。そうしたところ、施錠の率が一気に上がったため、これを他の駅にも広げていきたいと考えている。

住宅の中での自転車盗だが、こちらは無施錠で止めて盗まれることが中々後を絶たない。中でも圧倒的に学生が無施錠であることが多いということで、市内の全中学校に、チラシと合わせて、学校の先生から自転車盗の現状や対策法について授業で伝える時間を取っていただき、対策をとっている。

まだまだ改善の余地があると思っており、今後も様々な対策とっていきたい。

(2) 「交通安全」「防犯」ポスター・標語の選定について

(3) ながら見守り 2023 について

- ・事務局より説明
- ・質疑、意見は無し

4 その他

- ・報告、質疑・意見等特になし
- 以上